

書くことは、農作業に似て…

山田 勘 一

更生保護法人ウィズ広島 理事長



初夏の季節がくる頃、やっと『更生保護のなかのウィズ広島、もう1つの歴史への招待』がタカトープ rintメディアから運び込まれた。見事な出来栄である。タカトープ rintメディア久保さんの粘り勝ちだ。本書の企画当初は、日常の業務が気になって私の頭は編集作業のほうに回らず、指先がキーボードの上を走らなかつた。ウィズ広島に出ると、決裁々、相談々、時には利用者から理事長センセイといわれ、ドンといわれて利用者や退所者と対座する日々である。

そんな感慨に耽りながら手元の3年連用日記、2022年1月16日(日)をめくる。「史、嘉屋さんの原稿に手を入れ、最終稿として再構成しよう。こんどこそ…云々」とある。が、決意はすぐに実を結ばない。ある日、私の気持ちがいつまでも弾まないのを見透したかのように、嘉屋さんが自ら原稿の束を私のまえにばお～ん

と置いた。紙袋から出す原稿の重さに圧倒される。その原稿や写真を分類、整理し、手を入れているうちにだんだん私の気持ちも沸き立ってきた。

そして1週間も経たない日、「快晴。誌原稿、タイピング。史料、広島向上舎の福本久吉談を再度、読み解き、考える。22時40分入浴」と快走している。こうした動きを続けるうちに、「誌」はいつしか「史」が主流になり、「コラム／は語る」、「閑話休題」を支流に据え、次第に整流される。そして嘉屋常務理事の原稿は、私の原稿の上に貼り付けられ、よみがえる。

毎朝、NHKの朝ドラ「らんまん」を見ているが、主人公の万太郎は、植物学の雑誌を創刊するために昼は大学で標本づくり、夜は印刷所で石版印刷の技術を学ぶ。恋心を秘める寿恵子のことまで忘れたように…。このように昨年から今年にかけて、私は万太郎だった。書く、訂正する、史料を読み解く、他の原稿を貼り付ける。わがkindleから『思想史講義明治篇I』を開き、明治の時代を読

む。まさに書くことは、畑を耕し、種を播く農作業とおなじだと知る。こうして1年が過ぎ、編集作業は加速し、活字の大きさなどを修正し、表現を改め、タカトープrintメディアに最後の校正刷りを渡した。

出来た本書を再読すると、句点、句読点をはじめ誤りの箇所が処々にある。過日、本書を謹呈した安形学兄から温かい批評が届く。本書19頁、静岡の定光寺は「常光寺」、21頁千頭義澄は、「正澄」などと教えられる。再三、文の枝葉を広げるうちに頭のなかがぐちゃぐちゃになっていた当りが浮かび上がった。本書あとがきにご寛容を乞うと述べたが、新訂版『更生保護のなかのウィズ広島…』を出版したい気持ちだ。そして正誤表をつくる…。気がつけば、その間、目の前の更生保護事業は加速化し、新しい事業として広島版「更生保護地域連携拠点」を足場に、県下一円に保護観察期間を終えた人など地域で、ともすれば孤立無援なひとり暮らしの人々に寄り添い、同行、もしくは訪問支援する事業が待っている。オープンな関係を基盤にする、新しい社会的ネットワークを再構築する事業である。ひきつづき皆さまのご支援をお願い申し上げます。

2023.7.1

新しい風、吹く

ウィズ広島賛助会会長 迫谷浩司さん



錦建設株式会社 代表取締役社長 迫谷浩司さん

「ウィズ広島 賛助会」の新会長に就任された迫谷浩司さんは、広島生まれの広島育ち。川が多いこの街で、幼いころから釣りに親しみ、また、スポーツも楽しんでおられる。「じっとしているのが苦手なんです」と微笑まれる迫谷新会長に、お話を聞いた。

—ウィズと関りを持たれたきっかけは？

「有限会社 サコタニ」の社長であった先代が、賛助会の会員であったことから、私も会員の一人として入ったことです。

—会長を引き受けられて、今のご心境は？

歴史あるウィズ広島の賛助会。先輩方が作られたすばらしい組織の会長として命をいただき、まず「自分でいいのか」という気持ちになった。しかし、せっかくの機会なので全力でさせていただきます。私自身が、これから始まる活動に、わくわく感を持っています。

—賛助会に対する思いと、ウィズ広島に向けてのご意見はありますか？

賛助会はウィズを支える会。そのためにも、会員数を増やしたいと思っています。

会社は会長や社長が「目立つ花」ではいけないと思っている。ウィズなら入所者が「主役」。賛助会の自分たちは「支える根っこ」でありたい。

皆さん、これからどうぞよろしくお願いいたします。



人事異動がありました

てしま さちこ
豊島 幸子
(事務員)

4月にウィズ広島に入社しました。頼りになる上司と、いつも明るい先輩に支えられ、また職員の皆さんからも親切にいただき、日々の業務に励んでいます。

一日も早く仕事を覚えられるように頑張っていきたいと思えます。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



次長 (補導主任併任)
中元 孝彦



調理員
吉和 真奈美



非常勤調理員
吉和 栄枝



お疲れ様でした

退任

補導員：田中 博敏 (3月31日付)
事務員：吉野 真由美 (3月31日付)

with WH+

～協力雇用主～ 株式会社 M I O

会長 ^{いでもと}井手元 ^{みちお}路雄さん
 代表取締役 ^{きはら}北原 ^{あい}愛さん



「遊びも仕事も楽しもう！」と話す井手元さん

今年で創立5年目を迎える「株式会社MIO」。特殊伐採から土木・山林管理まで「木」に関わる事業を展開している。個人の依頼から法人に至るまで、また、請け負う地域は県内はもとより、業務内容によっては東北地方まで出張することもあるという。

記憶に新しい5年前の西日本豪雨の災害復旧工事においては、砂防ダムを造る場所の樹木の伐採をする最初の工程を担った。

会社の始まりは「とび職」だった。やがて、会長の井手元 路雄さんが林業に携わっていたことから「木」にまつわ

る仕事を中心に開拓をしていき、今の業務内容となった。察付きの警備会社もあり、雇用のすそ野は広がっている。

ウイズ広島の協力雇用主となったきっかけは、井手元さんの知り合いが「就労支援機構」の事務局長とつながりがあったことから。事務局長から「保護会の就労支援に関わってもらえないか」と声をかけられたのが始まりだった。

井手元さんは語る。

「今うちに来てくれている人は真面目な人ばかり。それぞれに適性があるので、なるべく本人に向けた現場に配属を考えています。また、顔見知り同士がいる場合、お互いがいたほうがやり易いのなら一緒に現場に行ってもらうこともある。このような人員配置は、働き手の性格や個性をよく知る人物に相談して進めています」

「一緒に仕事をする上で大切なのは、責任感だと思います。また、こちらがアドバイスをしても本人の思いや価値観が違つと、こちらの思いが受け入れてもらえない時もある。そんな時は、

本人の意志を尊重し、縛らないようにしています」

「解体でも部門は何でもいい。ここで技術を習得し、活躍するようになってくれたら。この会社で研鑽して、それぞれが巣立ってくれること。それが一番うれしいです」

代表取締役 北原 愛さんは語る。「他施設出身ではありますが、うちの会社に来て6年になる人がいます。すごく頑張っている子で、はじめのうちは支払いの滞納を抱えていましたが、ついに完済し、今では「車の免許を取ろうか」と、新しい目標も持てるようになっていきます。そんなふうには、ここで目標を見つけて、前向きに進んで行って欲しいです」

.....

就労を通して人間成長を見つめる、お二人のまなざしは、とても優しい。



「皆さんには、目標を見つけて欲しいです。お金を貯めること、車を買うこと、何でもいい。目標がないと、人は流されてしまいますから」と話す北原さん

コロナ禍、3年間の停滞。

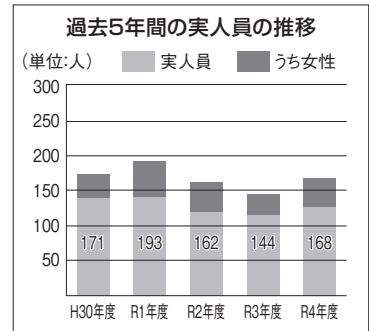
2022 (令和4) 年度 (2022.4 ~ 2023.3) 事業成績報告

宿泊型保護事業の実人員

令和2年から実人員は減少傾向にありましたが、令和4年度は増加に転じました。しかしながら、前年度比24人増の168人（うち女性41人）にとどまり、施設利用率は前年度比3.3ポイント減の63.5%でした。今後も利用者の課題、ニーズにも焦点を当てたきめ細かい処遇や支援に努め、受入れを促進して参ります。

単位：人

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
実人員	171	193	162	144	168
うち女性	37	51	42	29	41

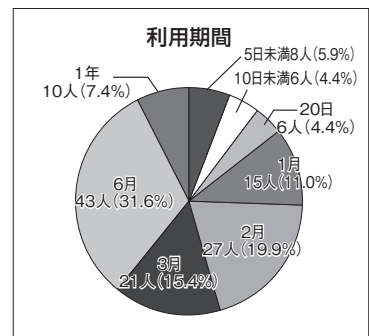


利用期間

「保護の期間」では、1月未満が35人(25.7%)、2月未満が27人(19.9%)の計62人(45.6%)、前年同期は1月未満が21人、2月未満15人の計36人(30.7%)、同期間の退所者が前年より26人増えています。これが前年度より実人員が増えたにもかかわらず利用率が下がった要因です。

単位：人

区分	5日未満	10日未満	20日	1月	2月	3月	6月	1年	2年	3年	3年以上	合計
実人員	8	6	6	15	27	21	43	10	0	0	0	136
うち女性	0	1	2	3	9	6	7	2	0	0	0	30

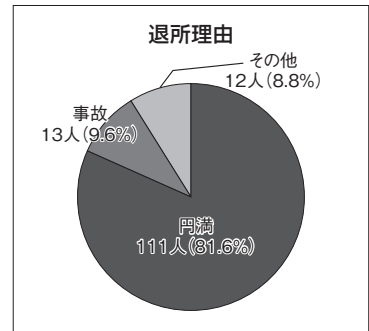


退所理由

円満退所は81.6%、111人で、前年同期に比べ15人増えています。円満退所率は前年同期とほぼ同率でした。事故退所した人は、前年同期と比べ3人増え、その他が2人増え12人でしたが、無断退所者は0人でした。

単位：人

区分	円満	勧告	無断	事故	その他	合計
実人員	111	0	0	13	12	136
うち女性	26	0	0	3	1	30

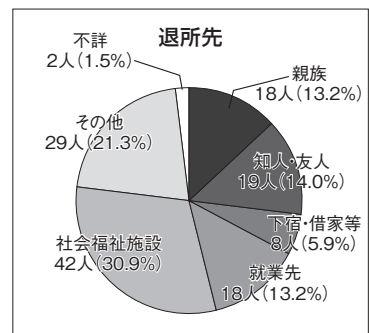


退所先 (人)

退所先では、前年同期に比べ親族の元が9人増え、就業先も5人増えて、いずれも18人となったことは評価されます。社会福祉施設に分類される生活保護受給を希望して退所した人は、前年同期に比べ3.5ポイント上がり42人となっています。

単位：人

区分	親族	知人・友人	下宿・借家等	就業先	社会福祉施設	その他	不詳	合計
実人員	18	19	8	18	42	29	2	136
うち女性	7	9	3	1	6	4	0	30



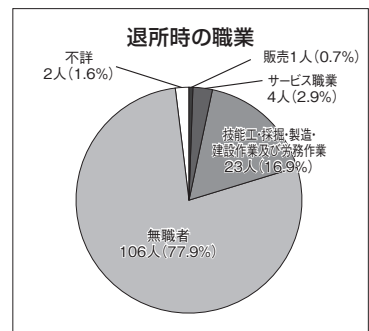
退所時の職業

退所時の職業では、無職者が77.9%、106人です。無職者の比率が高いのは、高齢者や障害のある利用者が多く、また退所時には離職して転居に備えている人も含まれているためです。技能工、建設作業等において、前年同期より10人増え23人になったのは注目されます。

単位：人

区分	専門的・技術的職業	管理的職業	事務	販売	サービス職業	保安職業
実人員	0	0	0	1	4	0
うち女性	0	0	0	0	2	0

区分	農林・漁業	運輸・通信	技能工・採掘・製造・建設作業及び労務作業	無職	不詳	合計
実人員	0	0	23	106	2	136
うち女性	0	0	0	27	1	30



今後の回復をめざす。

2022(令和4)年度 連結収支決算報告

収入 1億2,688万円 支出 1億4,210万円 繰越金 △1,522万円

連結収支においては、収入総額1億2,688万円、支出総額は1億4,210万円で、1,522万円の赤字となりました。次年度以降黒字運営を目指します。

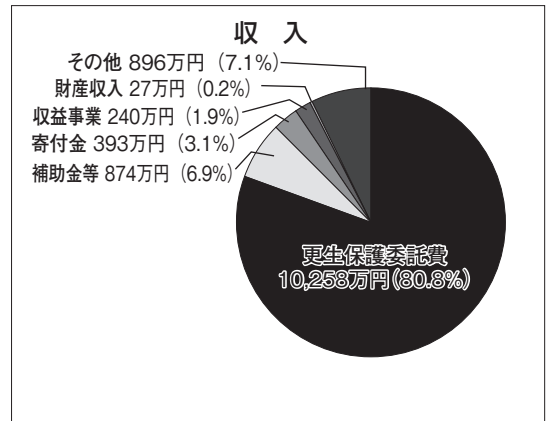
■収入

令和4年度の収入総額は、前年同期に比べ10.0%、1,153万円増の1億2,688万円。事業収入である更生保護委託費収入は、前年同期に比べ4.7%、468万円増の10,257万円でした。今期受入れ実人員は、前年度を24人上回る168人、次年度以降も利用者を積極的に受け入れ収入増を図ります。

単位：万円

科目	更生保護委託費	補助金等	寄付金	収益事業	財産収入	その他	合計
金額	10,258	874	393	240	27	896	12,688

その他：一般・特別会計繰入金等



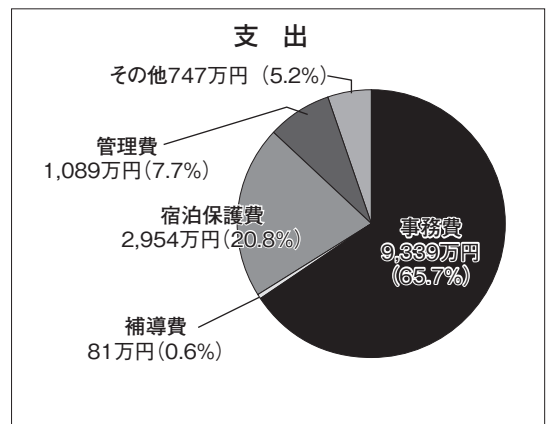
■支出

令和4年度の支出総額は、前年同期に比べ19.8%、2,350万円増の1億4,210万円でした。増加した主な要因は、エレベーター補修費、食糧費、水道光熱費の高騰、パソコンリース契約、ソフトウェアリース代等によるものです。今後も水道光熱費、食糧費等に留意しながら計画的支出に努めてまいります。

単位：万円

科目	事務費	補導費	宿泊保護費	管理費	施設整備積立金	その他	合計
金額	9,339	81	2,954	1,089	0	747	14,210

その他：一般・特別会計繰入金支出等



通所・訪問型保護事業の成績

令和2年3月から休眠預金を活用し始めた退所者フォローアップ支援事業は、同5年3月に終了しましたが、同事業は引き続き行っています。令和4年度退所者フォローアップ支援を受けた実人員は1,752人、前年同期に比べ41.9%、517人増となり、同事業において所期の目的を達成しました。

なお、令和4年度の訪問支援件数は608件になり、順調に推移しています。

収益事業（賃貸駐車場、太陽光発電電力供給）の成績

賃貸駐車場及び太陽光発電電力供給事業共に順調に推移しています。賃貸駐車場では、現在、満杯の13台契約しており、令和5年度は200万円余の賃貸駐車場収入が見込まれます。太陽光発電電力供給においては、売電収入額が減少しており、5年度は48万円の収入を見込んでいます。

「退所者フォローアップ支援」事業の実施結果報告

嘉 屋 進

ウィズ広島では、2020（令和2）年3月から2023（令和5）年3月までの間、休眠預金から助成を受け、退所者フォローアップ支援事業を行いました。このフォローアップ支援はウィズ広島を退所した人が、困りごとや悩みなどをフォローアップ支援員や補導職員に相談し、またカウンセリングによって不安、悩みが軽減し、精神状態も安定して、日々安心して再犯することなく地域の一員として社会に溶け込んでいくことを目的に始めました。

主な支援はフォローアップ支援員の心理・生活相談、カウンセリング、ウィズカフェですが、その活動の概要は以下のとおりです。

1 フォローアップ支援員の活動

退所後に心理・生活相談を受けた人数は、延べ4,197人。内訳は支援員延べ3,249人、補導員延べ948人（支援員相談時に代替等）。退所前に支援員が予備面接を行い支援受託の同意を得た人数678人。他に、電話、手紙による安否伺いも行ってきました。



退所者の生活相談にのる白倉弘子フォローアップ支援員

2 カウンセリング

ウィズ広島のカウンセリングは1996（平成8）年、元家裁調査官、元保護観察官の2人により始まり、以後利用者へのカウンセリングを行ってきました。休眠預金助成による退所者フォローアップ支援においては、3人体制とし、施設利用者及び退所者へのカウンセリングを行ないました。

精神疾患、重い悩み等を抱えている人のほとんどを、3人のカウンセラーが担当し、支援員においては30分以上心理面に焦点を当て面接したケースはカウンセリングとして計上しました。いずれのカウンセリングも彼らの話すことに共感を交え傾聴し、彼らの悩み等を軽減、解消に向け実施してきました。

退所後にカウンセリングを受けた人数は、延べ1,705人。内訳はカウンセラーが延べ454人、支援員が延べ1,251人でした。



村上正人カウンセラー



塩谷垂子カウンセラー



横山和洋カウンセラー

3 ウイズカフェ

ウイズカフェには「抹茶カフェ」、「カフェ／シアター」、「カフェ／ビンゴ」と3つのカフェがあります。これらのカフェは、ウイズ広島を退所した人が、退所後も施設に足を運びやすくするため月1回定期的に開催し、今では、職員、支援員に会いたい、生活相談、カウンセリングを受けたいと思う人たちをつなぐ、集いの場となっています。

(1) 抹茶カフェ：コロナ禍で中止期間：計15月間

「ウイズカフェ」は、2016（平成28）年に誕生しました。地域のボランティアの茶道の師範3人、ピア・サポーター（元利用者）の協力のもと、抹茶とお菓子をいただきながら、ワイワイおしゃべりしながら楽しむ会となっています。

2020年4月～2023年3月の間に、参加した退所者は延べ302人。施設在所者を含めて月平均約25人が参加しています。開催は月1回、第3火曜日の午後2時から3時までとなっています。



ある日の「抹茶カフェ」風景



地域ボランティア茶道の師範
右から、土井壽美子さん、小尻幸枝さん、
佐藤文倫さん

(2) カフェ／シアター：コロナ禍で中止期間：計7月間

カフェ／シアターは「会話の苦手な人でも参加できるカフェ」として、ポップコーン、スナック菓子とジュースで映画観賞しています。参加者にとって映画観賞は余暇の善用、また月1回心を動かす映画を観ることは、彼らの精神衛生上にも意味があると言えます。2020年9月～2023年3月の間に参加した退所者は延べ人員201人。施設在所者を含めて月平均約14人が参加しています。開催は月1回、第1日曜日の午後1時から3時ころまでとなっています。



ある日のカフェ／シアターの風景

(3) ビンゴ／カフェ：コロナ禍で中止期間：計8月間

ビンゴ／カフェは、近隣のスーパー、フードバンクから寄付を受けたフードロスや寄付物品を提供する「お土産付きカフェ」です。退所者によるゲームやビンゴゲームの景品に寄付物品を使用し、フードロスを帰りに手渡ししながら一言声掛けをしています。2021年3月～2023年3月までの参加者は延べ254人。ビンゴ／カフェの参加者は退所者のみです。

開催は月1回、第4火曜日午後2時から約1時間となっています。



ある日のビンゴ／カフェの風景 お土産は後方（左側写真）、左右（右側写真）

カーネーションに托された気持ち

5月、事務室のカウンターに鉢植えのカーネーションが。
「母の日 お世話になってます。感謝の気持ちです。」

それは、毎日、朝早くから夜遅くまで、調理場で美味しい食事を作ってくれる調理職員に向けて利用者から書かれた言葉。

かわいらしい花は長く咲き続け、調理職員たちはうれしそうに眺めていました。



役員等人事異動速報

理事 藤島 秀孝さん

氏は当法人理事を歴任され、令和2年6月に任期満了で退任されました。このたび更生保護事業の拡大に伴い、氏の経験を再度生かしてもらうため理事に就任いただくものです。

評議員 反田 哲顯さん

氏はウィズ広島賛助会副会長として、ウィズ広島賛助会の健全運営に努められる一方で、地元町内会長、民生委員・児童委員として活躍されるなど地域社会からの信望も篤い人である。

訪問支援に携って

最初のうちは、助言や指導などせず、日常会話やこれまでの生活状況などの話しをして人間関係を築いていき、話す分量を「相手7」「自分3」程度の割合になるよう、意識しています。また、生活の変化に気づくため、室内の様子や持ち物、外食の頻度なども時々確認しています。希望によっては、時折、自宅以外の近所の公園などに場所を移してお話しをすることもあります。そんな時、いつもと違う内容の会話が生まれることも。服役中の話を聞かせてもらう時には、その辛さを思い出してもらい「刑務所に戻りたくない」という気持ちを再認してもらうよう配慮しています。

また、就業中の人には「今後の夢」「希望」などを語ってもらい、それを実現するためにはどうすればいいかを考えて、生活の中に目標をもってもらいたい。

訪問支援対象者からは「何日も人と会話をしていないので、話し相手になってもらって有り難い」「ロスフード



を持ってきてもらって助かる」「来ても来なくても、どっちでもいい」など、様々な声をもらっています。とは言え、初めの頃はしづしづ訪問を受け入れてくれ不愛想だった人も、訪問を重ねるうちに打ち解けてくれ、仕事や人

間関係などの悩みを相談してくれるようになり、やりがいを感じています。

訪問の中で感じる困りごとの中で、意外に多いのが高齢者の人たちの携帯電話やインターネットの相談なんです。

訪問支援事業が始まりもうすぐ2年になりますが「刑務所を出所して一年間」という現行の訪問支援が行える期間は限られています。訪問先では、対象期間が過ぎても引き続きの訪問を本人が希望したり、こちらとしてもまだ見守りが必要なのではないかとと思われる人もいて、ケースによっては期間延長が望まれます。これからは関係機関との連携も進めていきたいと思っています。

訪問支援員 脇本 正晃

訪問支援対象者とは、気づいたこと、感じたことを互いに伝え合う関係でいたい。そうする中に自分自身が理解でき、単に支援や援助を「する」「される」という関係でなく、同じ生活者として、一緒に学び合えるのではないかと考えています。

退所後から関わるのではなく、ウィズ入所中から話しをする機会を持ち、退所後も続く関係を作るよう工夫をしています。

訪問先では「出てからも関わってもらえるのは有り難い」「人と関わるきっかけになるので、カフェに参加できるのが楽しみ」「カフェで職員と一緒に生活した退所者に会えるのが嬉しい」などの声をもらっています。

訪問で関わっている期間は、再犯が少ないように感じます。また、家をかまえて生活環境が整うと、仕事を始めたり、地域の活動に参加する人もいて、前向きな気持ちになっていっている。

訪問することで、高齢や病気などで自分で外出することが難しい人や、支援を自分から求めるのが苦手な人にも関わることで、支援につながるきっかけの一つになっていると感じています。また、自宅訪問することで、



周囲を気にせずゆっくり話せるのも強みだと思います。

就労を始めたことで訪問日の調整が難しくなったり、電話がない人とは連絡が取れず、訪問が出来ないケースも。また、退所後の住まいが広島市以外の遠方だと、訪問が困難なのが悩ましいところです。

当事者本人にかかわった関係者間で課題を共有することが、問題解決につながっていくと考えています。保護観察官と情報共有をし、定期的に支援の現状や、課題を伝えるようにしています。

訪問支援はまだ始まったばかりで、認知度はまだ低いように感じています。関係機関、支援者の方たちにも知ってもらう機会があれば、さらに充実したものになると思います。

訪問支援員 古川 真里奈

お名前は言えませんが…

謎の紳士、ミスターNさん

いつからか毎月送られてくる、志しの入った封筒。

この施設には、そっと支えてくださる人がいます。

寄付の受付を確認するたびに募る疑問。「いったいなぜ送ってくださるんだろう」「どんな人なんだろう」…。

いつしか、その方に連絡を取ってみたいという思いが募るようになりました。

そこで、ぶしつけとは思いますが、質問と返信用封筒を同封し書いた手紙。

すると…返事が送られてきたのです！

決して多くない言葉の中に、この方のお人柄が伝わってきました。

Q ご出身は？

岡山市内です。



Q 何のお仕事をされていますか？

運輸省中国運輸局へ就職し、初任地は松江市です。今年4月に異動で、岡山に戻ってきました。

Q ウィズ広島を知ったきっかけは？

NHK 第一ラジオ放送です。

Q 支援するきっかけになったのは？

「社会福祉が一番大切」だと思うからです。

Q 一言、お願いします。

「万人は一人のために、一人は万人のために尽くす」私の好きな言葉の一つです。

いつか必ず、広島勤務になることがあるので、その日を楽しみにしています。

いつも本当にありがとうございます。

私たちも、お会いできる日を心待ちにしております。



突然うれしい電話

先月、元女性利用者から弾んだ声で電話がありました。「職場で高い業務評価をもらい、講演をすることになった。100人の中から選ばれた」という。彼女が8年前に入所した時、たまたま女性居室が満室。やむなく、本来の受け入れるフロアではない部屋を提供したのです。「あの時のお陰で、現在がある。今住んでいるところも、先生が紹介してくれた物件。また、ウィズのイベントにも参加します」と話しました。ウィズが存在が前に進むきっかけになったことがうれしく、彼女の笑顔を思い出しながら、幸せな気持ちになれたひとときです。



～広島県更生保護女性会の皆さまによる 趣向を凝らした、楽しいひととき～

5月【端午の節句】

手品にビックリ



ジャンケン...

普段クールな利用者も
大ハシャギ



ポンッ!!



7月【七夕交流会】

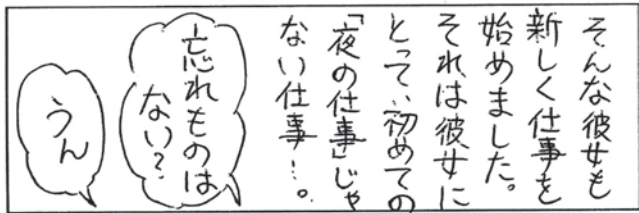
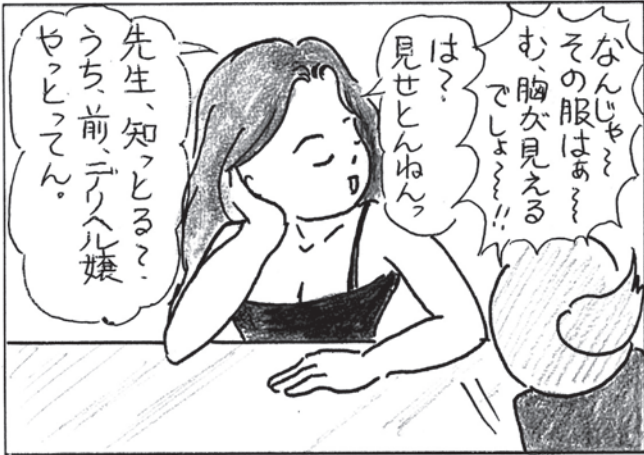
白熱!かるたとり



七夕にちなんだ
絵本に耳を澄ませて



輪になって
踊りました



子どもの頃、阪神大震災でも起きなかつたそうです

寄付で振り返るウィズ広島

2023年(令和5年)1月1日から6月30日までに、皆様からお預かりしたご寄付は次のとおりです。(敬称略)

1月

西徳都:3,000円、細川美穂子:書籍1冊、平口さとみ:みかん9個、温泉パン3個入り×6袋、社会福祉法人正仁会あいあいねっと:エビ麻婆豆腐×2、海老のチリソース×2、インゲンのピーナツ和え×2、他13点、匿名:充電式湯たんぽ、(株)ハローズ海田市駅前店:キャノーラ油900g×1、黄桃缶×2、スイートコーン缶×1、みかん缶×1、他15点、渡邊君子:10,000円、江藤民子:シーツ×15、ひざかけ×3、枕カバー×7、他4点、(株)フレスタ舟入店:キッチンタオル4ロール×1、海鮮スンドゥブ×2、ヤンニョムチンソース×1、他19点、(株)フレスタ吉島店:チャルメラ5個入り×1、ホーミングクレンザー×1、カルボナーラレトルト×1、他15点(写真①)、更生保護施設等支援協議会 藤本晴男:白米×50、ワカメご飯×50、こしひかり5kg×2、他10点、西地区更生保護女性会:給食材料(写真②)、社会福祉法人正仁会あいあいねっと:こしひかり3パック×3、白ネギ×5、ビーフカレー×4、トマト炒め煮×1、他31点、(株)ハローズ海田市駅前店:胡瓜×8、玉ネギ×4、食器洗剤×2、キャベツ×2、焼き鳥缶×7、他3点、(一社)若草プロジェクト:ハンドソープ1ℓ×6個、南地区保護司会:10,000円、坂吉英利:5,000

円、広島県就労支援事業者機構:10,000円、井町重遠:紳士ロングコート

2月

西徳都:3,000円、谷口千恵:ジャンパー×4、スラックス×50、セーター×1、長袖シャツ×4、他18点、廿日市地区更生保護女性会大野支部:給食材料(写真③)、社会福祉法人正仁会あいあいねっと:バナナ×13本、人参×11、カット人参×1、他17点、匿名:ブライトニングミラー、匿名:書籍4冊、匿名:書籍3冊、井町重遠:八朔10kg、匿名:書籍3冊、平口さとみ:明治THEチョコ×10、キットカット12個入り×2、他1点、(株)ハローズ海田市駅前店:春菊×2、ピザの生地×3、ヨーグルト×4、ちくわ×2、他2点、匿名:書籍65冊、安佐南地区更生保護女性会:給食材料(写真④)、広島県民文化センター・鯉城会館:敷パッドダブル×10、羽毛布団シングル×13、羽毛布団ダブル×5、小型冷蔵庫×5、他5点、社会福祉法人正仁会あいあいねっと:タケノコ水煮2.7kg、骨とりさば竜田揚げ×4、海老ニラ饅頭×2、他27点、(株)フレスタ吉島店:鮭の蒸焼×1、大根と人参乾物×1、キャベツ3種の野菜×5、パニラビーンズ×2、他13点、(株)フレスタ舟入店:ジョージア×2、カゴメ野菜ジュース×1、キムチチゲスープ×1、鶏卵水煮×1、他

18点、広島県社会福祉協議会:女性長袖シャツ×14、上衣×5、スカート×2、玄米×50kg、他3点、笹井康史:10,000円、佐藤文倫:梅・紅・白まんじゅう各30個、草餅×10、谷貴美子:ハンガー×27、エコバッグ×10、ハンカチ×25、タオル×1、ミキサー×1、ブランケット×3、時計×2、靴×1、他29点、更生保護施設等支援協議会 藤本晴男:果実の恵モモゼリー12個入り×4、匿名:ズボン×1、匿名:ジャンパー×1、トレーナー×1、村上正人:蜜柑(不知火)1ケース

3月

社会福祉法人恩賜財団済生会広島病院:紳士スーツ上下×3、女性スーツ×1、ジャケット×1セーター×1、他4点、広島県民文化センター・鯉城会館:歯ブラシセット×1781、シャワーキャップ×1000、ポット×10、冷蔵庫×12、他5点、西徳都:3,000円、社会福祉法人正仁会あいあいねっと:銀杏がんと×2、枝豆×3、メンチカツ×3、ベーグル×6、米×6.1kg、他23点、西地区保護司会:ポケットティッシュ×500個:広島県更生保護女性連盟:給食材料(写真⑤)、浄土真宗本願寺派圓妙寺:柑橘類34個、資生堂シャンプー×3、資生堂リンス×3、他15点、平口さとみ:丸大豆せんべい×2、ホームパイ×2、エンゼルパイ×2、高杉敬一:紙パンツ×20、佐藤



フレスタ吉島店様よりの品



西地区更生保護女性会の皆さん



廿日市地区更生保護女性会大野支部の皆さん



安佐南地区更生保護女性会の皆さん

文倫：おはぎ50g12個入り×6、**国立大学法人千葉大学 東本**：コーヒースティック×48本、**井町重遠**：タッパ-大×6、タッパ-中×4、タッパ-小×11、**(株)ハローズ海田市駅前店**：ドレッシング18ml×40、ピーマン×4、エノキ×1、他4点、**谷口和正**：ひのひかり玄米10kg×2、**安佐北地区更生保護女性会**：給食材料(写真⑥)、**高杉敬一**：ケアパッド×20枚、**社会福祉法人正仁会あいあいねっと**：まぐろたたき丼4袋入り×1、スモークサーモン秋鮭×2、紅鮭×1、ヒレステーキ300g×3、他15点、**匿名**：敷布団×2、トースター×1、レンジ×1、3段棚×1、他8点、**(株)フレスタ吉島店**：白桃缶×1、万能酢×1、きび砂糖×1、あおさ×1、のどあめ×1、他5点、**(株)フレスタ舟入店**：寒天信玄餅×9、どんべい×1、じゃがりこ×1、ゆであずき180g×1、白菜うま煮×1、他14点、**土井壽美子**：さくら月餅×11、日本橋まんじゅう×12、うすあわせさくら×11、**佐藤文倫**：トレーナー×9、**匿名**：大根×8本、**浄土真宗本願寺派圓妙寺**：文旦、デコポン、ネーブル×32個、**(株)ハローズ海田市駅前店**：キャベツ1/4×2、レタス1/2×1、他7点、**谷貴美子**：肌着×1、靴下×1、棚×1、椅子×1、他12点、**更生保護施設等支援協会**：ブルーベリー黒酢500ml×2、コーヒージフト3千円×2、他23点、**匿名**：お盆×5、**匿名**：安全帯×1、ポストンバッグ×1、**匿名**：傘×10、マジック×1、ボールペン×5、**カッターナイフ**×2、**広島県民文化センター・鯉城会館**：カーテン×22、鏡×8、他12点

4月

社会福祉法人正仁会あいあいねっと：寄せ鍋

つゆ×1、鯛とほたて鍋×1、ガムシロップ12g×25、ティーバッグ25g×3、中華風お粥×1、他8点、**東広島地区更生保護女性会 森川恵美子**：玄米30kg×2袋、**(株)ハローズ海田市駅前店**：しいたけ6個入り×1、ブロッコリー×1、キャベツ×3、えのき×7、りんご×2、他2点、**匿名**：トレーナー×1、タンズシート×1、水筒×1、キャンドル×1、他2点、**西億都**：3,000円、**佐藤文倫**：三色団子×30本、一口桜餅×40個、**山田勘一**：書籍×1、**江藤民子**：婦人ジャンパー×2、セーター×1、ブラウス×1、**(株)フレスタ吉島店**：練乳×2、ラムネ×1、甘酒×1、ジャワカレーレトルト×1、ヒルズレギュラーコーヒー×1、他10点、**(株)フレスタ舟入店**：ジョージア×4、午後の紅茶×4、生茶×1、ぜんざい×11、うすら水煮×1、他8点、**匿名**：長袖シャツ×1、セーター×6、スカート×8、ワンピース×1、**土井壽美子**：和菓子15個入り×2、**佐藤文倫**：ベスト×2、トレーナー×5、ジャージ×3、Gパン×2、ハーフコート×1、他3点、**平口さとみ**：アーモンドおかし×10、カシューナッツおかし×10、**更生保護施設等支援協会 藤本晴男**：氷みつ×5、キムチチゲ×3、堅あげポテト×1、梅干しミート×1、米5kg×1、他17点、**広島安芸地区更生保護女性会**：給食材料(写真⑦)、**社会福祉法人正仁会あいあいねっと**：鶏もも肉とブロッコリー260g×6、鶏もも串8本入り×4、プレーンベーグル×6、他22点、**横田鶴子**：20,000円、**広島県社会福祉協議会**：書籍×17、女性用Tシャツ×3、**(株)ハローズ海田市駅前店**：八朔×2、れんこん1/2×1、パイナップル×1個、トマト×1、玉ネギ×1、

じゃがいも×32、**日本電気(株)(NEC)**：アルファ米50食×4

5月

東広島地区更生保護女性会：10,000円、**匿名**：コート×2、シャツ×1、ワンピース×3、**西億都**：3,000円、**社会福祉法人正仁会あいあいねっと**：プリッツ×100箱、ブルーベリー&レモンジャム260g×12、指保乃糸×27束、他4点、**広島県更生保護女性連盟**：給食材料(写真⑧)、**匿名**：Gパン×3、紳士シャツ×2、婦人半袖×3、ワンピース×1、他7点、**(株)ハローズ海田市駅前店**：スナックえんどう×4パック、玉ネギ×8個、にんじん×23本、オレンジ×2、りんご×2、太ちくわ×4、他23点(写真⑨)、**西田せつこ**：スカート×5、ズボン×3、長袖×8、ブラウス×4、セーター×6、他18点、**更生保護施設等支援協会 藤本晴男**：はもてん×53、かまぼこ230g×4、**佐藤文倫**：トレーナー×3、スウェットパンツ×1、婦/つなぎ×1、**(株)フレスタ吉島店**：むき甘栗270g×1、豆餅×10枚、春雨70g×1、ひじきごはん45g×1、他11点、**(株)フレスタ舟入店**：鶏肉フライ×13、出前一丁×1、プロ野球チップス×1、ビーフコンソメ×1、ドルチェーション×1、**佐藤文倫**：ちまき(白)×50、ちまき(よもぎ)×50、柏餅×60、**土井壽美子**：和菓子×12個、和菓子×10個、和菓子×10個、**匿名**：どんぶり×2、湯呑×3、マグカップ×1、小鉢×1、**社会福祉法人正仁会あいあいねっと**：レトルトカレー450g×72、牛丼レトルト160g×30、たまごスープ×50食、栄養ドリンク80g×72、乾野菜70g×



広島県更生保護女性連盟の皆さんと給食



安佐北地区更生保護女性会の皆さん



広島安芸地区更生保護女性会の皆さん



広島県更生保護女性連盟様による給食

10、他24点、**㈱ハローズ海田市駅前店**:大根×1、新しょうが×1、じゃがいも×5個、パセリ×1、ひきわり納豆3パック×1、どら焼き×1、他16点、**幟建末子**:10,000円、**匿名**:シャツ×1

6月

嘉屋進:10,000円、**西億都**:3,000円、**(一社)バンクフォースマイルズコスメバンクPJ事務局**:コスメギフトセット×20、**社会福祉法人正仁会あいあいねっと**:うどん4人前×1、羊羹×42個、生ラーメン×4、他15点、**広島紅葉ライオンズクラブ**:ポケットティッシュ8個入り×3、ボールペン10本セット×4、メモ用紙3冊セット×7、タオル×90、他27点、**㈱ハローズ海田市駅前店**:にんじん×1、レタス×1、にんにく×2、チンゲン菜2株×2、ミックスナッツ15g×9、他6点、**西田せつこ**:カバン×2、灰皿×1、紙皿×10、くつ下×5、温度計×1、まな板削り包丁研ぎ×1、ちりとり×1、他51点、**広島紅葉ライオンズクラブ**:夏布団×3、掛け布団×3、毛布×1、マット×1、座布団×9、他37点、**社会福祉法人正仁会あいあいねっと**:バイカークロワッサン×8、かっぱえびせん×101、ガーリックブレッド×1、小麦粉400g×1、他24点、**木本正志**:アイスバー×48本、**広島佐伯地区更生保護女性会**:給食材料(写真⑩)、**㈱フレスタ吉島店**:ミックスナッツ×1、えび塩きゅうり×2人前、ゆで小豆180g×2、味ぼん180g×1、とんかつソース300ml×1、他24点、**佐藤文倫**:トレーナー×3、ベスト×1、ズボン×3、和菓子15個入り×4箱、**土井壽美子**:和菓

子14個入り×1、和菓子10個入り×1、和菓子12個入り×1、**匿名**:シャツ×1、ズボン×1、**広島県民文化センター・鯉城会館**:テレビ×13台、マット×1、**更生保護施設等支援協議会 藤本晴男**:本の景品×9、皿×1、フルーツパンチジャー×34、京おこしミックス×2、ビーフハヤシ×4、他31点、**広島刑務所**:乾パン24缶入り×19、保存用ビスケット60入り×9、**更生保護施設等支援協議会 青山範子**:フレンチフライポテト2Kg×2、ブロッコリー×2、27kg、**黒木至美**:米20kg、**㈱ハローズ海田市駅前店**:わけぎ×1束、にら×1束、パセリ×3束、ゴーヤ×1本、他6点、**広島県社会福祉士会**:かばん×20、石鹸×2、浴室スポンジ×7、タイルブラシ×3、栓抜き×5、他34点、**広島県就労支援事業者機構 木本富男**:作業着上下×1、肌着M2枚組×3、下着ロングパンツL2枚組×6、靴下×11、他2点、**更生保護法人呉清明園**:ズボン×6、スーツ×1、ジャケット×4、ベスト×3、セーター×6、ジャンパー×5、コート×1、他6点

7月

㈱FORESTA:100,000円、**西億都**:3,000円、**社会福祉法人正仁会あいあいねっと**:マスカルポーネパン×36個、マグロの中落ち100g×22、オレンジマーメイド14g×40、ブルーベリージャム14g×40、イチゴジャム14g×40、他10点、**畠山昭雄**:10,000円、**安佐北地区更生保護女性会**:10,000円、**㈱ハローズ海田市駅前店**:ピーマン×4、ブロッコリー×2、北海道3.7牛乳1L×3、えのき×3、他7点、**平口さと**

み:卵10個入り×2、濃厚チーズ気分20枚入り×2、手作り姫ひじきの塩200g×1、**更生保護施設等支援協議会 藤本晴男**:純天然アルカリ保存水500ml24本入り×14箱、**佐藤文倫**:わらびもち500g×5袋、**㈱フレスタ吉島店**:洗濯バサミ×20本、ピーナツ和えの素×1、きゅうり浅漬の素×1、おいしいみそ汁10食入り×1、他6点、**㈱フレスタ舟入店**:ソイジョイストロベリー×2、チュッパチャップス×1、羊羹×1、かっぱえびせん小袋×4、他4点(写真⑩)、**更生保護施設等支援協議会 藤本晴男**:人参×1.97kg、一夜干しイカ旨辛明太焼き1kg×20、他2点、**土井壽美子**:越後の枝豆餅×6、大名きんつば×10、四季あわせ×9、塩どら焼き×10、**東地区更生保護女性会**:給食材料(写真⑩)、**社会福祉法人正仁会あいあいねっと**:たけのこ水煮1.34kg×2、焼きあごだし4g×20、麦茶8g×56、栄養缶×100、他7点、**谷貴美子**:ハンカチ×14、タオル×5、バッグ×21、ハンガー×24、ティッシュ×20、長袖シャツ×12、半袖シャツ×30、他14点、**平口さとみ**:スイカ×1玉、トマト×5個、播州そうめん50g×50、**㈱ハローズ海田市駅前店**:しめじ×4、エリンギ×2、キムチ×2、牛乳500ml×3、かぶ×12、キウイ×6、牛乳200ml×2、おっとつと10g×5、キットカット×11個、他8点、**幟建末子**:サングラス×3、老眼鏡×3、**日雨孫厚子**:玉ネギ×15、きゅうり×4、ピーマン×6、豆×12、他2点、**井町重遠**:ステンレスオードブル大皿×1、うちわ×2、ストラップ×2



9 ハローズ海田市駅前店様よりの品



10 広島佐伯地区更生保護女性会の皆さん



11 フレスタ舟入店様よりの品



12 東地区更生保護女性会の皆さん

記載内容の訂正とお詫び(正誤表)

2023年(令和5年)3月に刊行したウイズ広島記念誌「更生保護のなかのウイズ広島+」の中に一部誤りがありましたので、ここにお詫びし、訂正をさせていただきます。

ページ数	行目	誤	正
19頁	上から12行目	定光寺	常光寺
21頁	上から14行目	千頭義澄	千頭正澄
26頁	上から12行目	千頭義澄	千頭正澄
110頁	下から7行目	忽然を	忽然と



ウイズ広島賛助会 news

2023(令和5)年8月1日現在の会員は153会員、うち個人会員は79会員、企業・法人会員28会員、保護司会等23会員、更生保護女性会23会員です。1月1日から7月31日までに会費をお預かりした方々は次のとおりです。

ウイズ広島賛助会会長 **迫谷 浩司**

【個人会員】令和5年1月～令和5年3月31日 加藤規江、西川照顕、藤島秀孝、迫谷富三、迫谷浩司、反田哲顕、田中裕紀子、高藤邦彦、鴨下康子、藤原哲子、本西隆、能美直哉、川后昭子、吉田廣、加藤順子、森平悦子、堀江洋治、古屋由利子、平岡果代子、浅尾幸正、浅尾典子、木村美代子、菅和美、田部恭子、田中武子

令和5年4月1日～令和5年7月31日 曾川恵二、西田文子、山田勘一、畠山昭雄、嘉屋進、野村コズエ、林千秋、加川順一、宇恵一枝、井町重遠、楠本次子、小岩和子、繁政秀子、平口さとみ、西民恵、吉田廣、本西隆、高木一之、金剛丸雅子、鴨下康子、山本隆照、佐伯讓、石森雄一郎、山野千佳子、古屋由利子、木本正志、岡田忍、森平悦子、織建末子、加藤順子、山田陽子、中川武子、川后昭子、角田洋子、先小山英夫、大上ヨシエ、中村保子、寺田博、菅和美、和泉眞、能美直哉、仁井恭子、間所了、小川九人雄、土井壽美子、田部恭子、安達千代美、大田美穂子、加藤規江、山下隆、西田志都枝、竹井春江、浅尾幸正、浅尾典子、坪井忠、中元良子、田中武子、谷本知子、西川照顕、木元千鶴、食べて語ろう会

【企業会員】令和5年1月～令和5年3月31日 錦建設(株)、(有) さこたに、広島ゴルフショップ、広島駅弁当、太田铸造所、水主町食糧企業組合、チューゲイ、果青園サワダ、(株)本多

令和5年4月1日～令和5年7月31日 (株)山工、境谷工業(株)、水主町食糧企業組合、(有) さこたに、(株) fukahori、アイテレコムサービス(株)、(株)ちゅうせき、山陽空調工業(株)、(株)ハラダテクノ、(株)島田鉄工所、広島駅弁当(株)、(有)共伸家具製作所、(株)広島ゴルフショップ、(有)田中剛産業、(有)果青園サワダ、(株) さこたに、三菱電機ビルソリューションズ(株)広島支店、(株)大田铸造所、(有)アートテクニカル、(株)福正建設

【保護司会会員】令和5年4月1日～令和5年7月31日 安芸地区保護司会、西地区保護司会、呉地区保護司会、東地区保護司会、広島佐伯地区保護司会、安佐南地区保護司会、広島安芸地区保護司会、尾道地区保護司会、庄原地区保護司会、中地区保護司会、山県地区保護司会、大竹地区保護司会、廿日市地区保護司会、東広島地区保護司会、福山地区更生保護協会、福山地区保護司会、竹原大崎地区保護司会、三原地区保護司会

【更生保護女性会会員】令和5年1月～令和5年3月31日 広島西地区更生保護女性会、福山地区更生保護女性会

令和5年4月1日～令和5年7月31日 中地区更生保護女性会、広島安芸地区更生保護女性会、府中地区更生保護女性会、南地区更生保護女性会、山県地区更生保護女性会、安佐北地区更生保護女性会、安佐南地区更生保護女性会、西地区更生保護女性会、竹原大崎地区更生保護女性会、庄原地区更生保護女性会、尾道地区更生保護女性会、東地区更生保護女性会、三次地区更生保護女性会、福山地区更生保護女性会、廿日市地区更生保護女性会

■ウイズ広島役員等

【理事】山田勘一(理事長)、山田一夫(副理事長)、畠山昭雄(常務理事)、嘉屋進(常務理事)、織建末子、中島和雄、和泉眞、林千秋、高木一之、八崎則男、栗屋充博、平口さとみ

【監事】柳原芳樹、坂吉英利

【評議員】木本正志、井町重遠、山本隆照、繁政秀子、楠本次子、

大野宣江、西田志都枝、内海幸一、石森雄一郎、岸本三悦子、加用雅愛、曾川恵二、宇恵一枝、金剛丸雅子、加川順一、日浅勝子

【顧問】浅尾幸正

【参与】永田雅紀

■ウイズ広島職員

【施設長】稲垣 宏

【次長(補導主任併任)】中元孝彦

【補導員】沖村和夫、神田修悦、三笥公明

【福祉専門員】岡本進佑、川岡 心、浅枝 恵

【薬物専門員】高杉敬一、田坂典子

【訪問支援員】脇本正晃、古川真里奈

【事務長】竹岡靖宏

【事務員】梅本和恵、豊島幸子

【非常勤フォローアップ支援員】白倉弘子

【調理員】吉和真奈美

【非常勤調理主任】吉和栄枝

【同調理員】田中惣子、江藤民子

■ウイズ広島賛助会役員

【会長】迫谷浩司 **【副会長】**反田哲顕 **【理事】**林 千秋、先小山英夫、宇恵一枝、深堀 勝、曾川恵二

【監事】堀江洋治、山本隆照

以上